

清流館

設立記念号

2015年
6月発行

高等学校同窓会報

清流館高等学校同窓会

■ 第1回総会開催 ■

〈日時〉2015年7月26日(日) / 13時~

〈会場〉清流館高校会議室

※清流館高校、吉田高校、大井川高校の卒業生であれば、どなたでも御出席いただけます。
また御発言も可能です。お誘い合わせの上、御出席ください。

清流館高等学校同窓会が設立され初めての総会です。皆様是非御参加ください。

お知らせ

1

〈四年目の会〉開催

高校を卒業して四年目を迎える方々だけの同期会です。

日時 / 2015年8月8日(土) 18時より
会場 / 藤枝四川飯店
会費 / 5,500円 ※当日会場にて集金いたします。
対象 / 吉田高校、大井川高校を四年前
(平成24年3月)に卒業した皆さん

申し込み / 同封のハガキにて出欠を確認

※当日、悪天候の場合など、やむを得ない事態で中止する場合は、ホームページでお知らせします。

〈ホームページ〉

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/seiryukan-h/home.nsf>



お知らせ

2

大井川高校卒業生

8期・9期・10期 の皆さん!!

皆さんが記念に埋めた、タイムカプセルの中に納めた思い出の品を、まだ取りに来ていない方は、学校の事務室まで取りに来て下さい。締め切りまでに来られない場合は、申し訳ございませんが処分することになります。

締め切り / 2015年12月25日(金)



同窓会設立にあたり

静岡県立清流館高等学校同窓会 会長 大石 裕之

本年1月、清流館高等学校の同窓会が発足し、会長に就任いたしました大石です。よろしくお願い申し上げます。

御承知のように、昨年4月、清流館高校は、各学年普通科6学級と福祉科1学級からなる高校として誕生しました。4月8日には第一期生の入学式、10日には開校記念式典が行われ、新たな道を歩み始めたのです。

一方、同窓会は、開校に遅れること10カ月。本年1月18日に、吉田高校と大井川高校それぞれの「臨時同窓会 総会」を開催し、両校同窓会の解散が決定いたしました。その後、吉田高校・大井川高校両校の同窓生、同窓会役員などが一同に会し、「清流館高等学校同窓会 設立総会」を開催。同窓会の会則・役員・予算・事業計画・同窓会館建設についてなどの議案をご審議いただき、承認を得ることが出来ました。そして「清流館高等学校同窓会」が誕生しました。

両校の同窓会役員は、2年間に渡り同窓会の合併について議論し、様々な課題、問題を乗り越え、合併へと一步一步近づいていきました。そして1月18日、新たなる同窓会誕生の時を迎える事が出来たのです。その喜びを噛みしめながら、これで晴れて初の卒業生を受け入れられる事が出来ると安堵したことが思い出されます。そして3月2日、第1回卒業式が挙行され、280名がそれぞれの想いを胸に清流館高校を巣立っていきました。そして同時に、私たちの後輩として、また仲間として、清流館高校の1期生の皆さんを同窓会に迎えることが出来ました。

清流館高校には、源流に二つの歴史と想いが存在しています。そして一つの大河となって、新たな潮流を創っていく役割を背負っています。校歌の一節にはこうあります。

「惜しみなくこの今と向き合うとき 知りえぬ宇宙が 味方になる」「漕ぎ出してゆこう いま 心の結び目を信じて」
私たちは、次の世界に旅立つその瞬間まで今と向き合って生き続けなければなりません。そして、漕ぎ出したとき、味方になり、助けになるのが、心の結び目、つまり同窓の絆です。同じ時を過ごし、苦楽を共にし、笑い合い、励まし合い、支え合った仲間こそ、一生の宝となるのです。卒業して、時が経つほど、その実感は増していきます。

4月6日には、新入生286名を迎えました。入学した瞬間から、この心の絆は、芽を伸ばしていきます。開校2年目となる本年度は、さらなる“清流館らしさ”が芽生えてくるのではないかと思います。

最後に、今歩みはじめたばかりの清流館高等学校同窓会の歴史を、私たち旧吉田高校、旧大井川高校のそれぞれの同窓生と、清流館高校の同窓生とがひとつになって協力し、創り上げていかなければなりません。何卒、関係各位の皆様の御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、会報発刊にあたり原稿をお寄せいただきました赤塚校長先生にこの場をお借りして、厚くお礼申し上げます。



礎

静岡県立清流館高等学校 校長 赤塚 顕宏

同窓生の皆様には、日頃から本校教育の推進に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。清流館高校は、平成27年3月2日に第1回卒業式を挙行し、280名の卒業生を送り出したところですが、4月6日には、新たに286名の新入生を迎え、清流館高校2年目の教育活動がスタートいたしました。

ある方から、「学校は『学びの場』という生き物である。『学びの場』が成長するから『学ぶ人』である生徒も成長する」と聞いたことがあります。ここ数年間は、吉田高校、大井川高校の両校が大切にしてきたことを再確認しながら新しい挑戦に向けた期間でありましたが、同時に、「学びの場」として成長する期間でもあったと思います。

昨年度の1年間は、すべての行事に「第1回」が付き、生徒は自分たちが清流館高校の歴史を創るという思いで頑張ってくれました。それは、両校の先輩方から歴史を引き継ぐことへの責任感と清流館高校の礎を担う使命感を持つてのことだったと思います。大きな行事や出来事なりが清流館高校の新たな歴史を刻んでいくと同時に、学校の伝統は、生徒一人ひとりが、より地道な日常の学習や部活動、生徒会活動等での「頑張り」の積み重ねの中から「結果」として創られていくものであると感じています。

2年目のスタートに当たる4月6日の始業式で、3年生に期待を込めて、次のように話しました。「3年生にしかできないことがあります。2年生や新入生にはできないこと。それは、皆さんが吉田高校や大井川高校で過ごした1年間で感じ取った校風の継承です。清流館高校と同じように、両校にも教育目標等があり、長い間引き継がれてきました。大井川高校には『より高い真理と優れた人間をめざして学ぶ姿勢を身につけよう』という教育目標が、吉田高校には『全力を尽くせ』という校訓がありました。この両校の目標と校訓をベースに、清流館高校の教育目標が融合できれば素晴らしい学校になると思います。これができるのは、3年生しかいません。心構えとか姿勢・行動は形には残らないかもしれませんが、人々の記憶には残ります。空気として感じ取れます。自信と誇りを持って、この1年間を過ごすことを期待しています」と。

いつの時代も、最上級生が学校の校風を創る中核であることは変わりませんが、全校の学級数の割合で言えば、21分の3の吉田高校の制服を着た清流館高生、21分の4の大井川高校の制服を着た清流館高生が、今年度の清流館高校を生徒の側から引っ張っていくことは間違いありません。3年生の中にそうした意気込みを感じるのも、清流館高校がまだ2年目の学校でありながら、もう何十年も歩んできた学校にいるような気持ちに自分になるのだと思います。

結びに、同窓生の皆様方には、清流館高校の成長を見守りつつ、今後も引き続き御支援いただければ幸いです。

清流館高校創立からあつという間の一年

初めての卒業式と2回目の入学式が行われました。

第1回 清流館高校卒業式

平成27年
3月2日(月)



3月2日(月)に第1回清流館高校卒業式が行われ、校長先生より各クラスの代表者が、卒業証書を授与されました。平成24年度に吉田高校・大井川高校に入学した生徒たちが、清流館高校の1期生(280名)として卒業しました。制服こそ入学した学校により異なりましたが、お揃いのコサージュを付けて式に臨み、ご来賓から、「高校再編という激動の時期を過ごし、新しい学校の基礎を創り、清流館高校の歴史のスタートを素晴らしいものにしてくださいました。」と、卒業生にお祝いの御挨拶がありました。



第2回 清流館高校入学式

平成27年
4月6日(月)



清流館高校第2回入学式が4月6日(月)に行われました。普通科246名、福祉科40名、全員の名前がクラス担任から読み上げられ、入学が許可されました。赤塚校長をはじめ、平澤PTA会長が、「清流館高校の更なる発展を期待する」旨の式辞を述べられました。続いて、新入生代表が、「清流館高校において誇りを胸に、新高校の創造に向けた期待と決意」を宣誓しました。



設立総会のご報告

2015年1月18日(日) 清流館高校において、13時から吉田高校と大井川高校のそれぞれの臨時同窓会総会を開催し、同窓会の解散を決定いたしました。その後清流館高校の校長をはじめ、ご来賓をお招きし、両校の同窓生、役員が一同に会し、「清流館高等学校同窓会設立総会」を開催しました。同窓会の会則や役員などを決定し、清流館高等学校同窓会が設立されました。

● 参加くださった皆様ありがとうございました ●



第2回 6月5日(金)・6日(土) 清流祭が開催されました!



今年も多くの方が来場されました!



6月5日(金) 文化祭ステージ発表がミュージコで行われました。クラシックギター部、放送部、美術演劇部演劇班、ダンス部、吹奏楽部、応援委員会による発表が行われました。日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしいステージ発表になりました。最後の応援委員会と吹奏楽部による「校歌斉唱」では全校生徒が肩を組み、2年目となった清流館高校校歌を歌いました。

6月6日(土)には、清流館高校にて文化部、各HRによる発表が行われました。少しずつ準備を進め、当日の発表では各団体それぞれの持ち味を出した展示を披露しました。全校生徒が見に来てくださったお客様に対して「おもてなし」の心を持って、発表を行いました。

2日間にわたる清流館高校2回目の文化祭も2,000名近いお客様が来校され、大成功に終わることができました。



ご注意 同窓会の名簿の管理は、株式会社サルト様に管理委託しています。同窓会を名乗り「名簿の作成」などと偽り、個人情報を聞き出す事件が起っており。現在、名簿の作成は行っていません。ご注意ください。